

性感染症

「性行為で感染する病気」を総称して性感染症と呼びます。性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、梅毒及び淋菌感染症などがあります。

どのように感染するの？

性行為により、病原体を含む血液や精液・膣分泌液などに直接触れることで、粘膜や傷口から感染します。口腔性交や肛門性交でも感染する可能性があります。性感染症は性行為の経験がある人ならだれでも、また、たった一度の性行為でも感染する可能性がある病気です。

知らずに放っておくと・・・

性感染症に感染しても自覚症状がないことがあります。しかし、体の中で病気は進行します。ほとんどの性感染症は自然に治ることはありません。治療しないでいると、骨盤内炎や肝周囲炎など重症化したり、不妊の原因になります。

不安を抱えているのなら・・・

「もしかしたら・・・」と思う症状がある時は、医療機関を受診することが一番大切です。ほとんどの性感染症は、早めにきちんと治療すれば治ります。治療が遅れれば遅れるほど治りにくくなります。また、保健所では感染しているのではないかといった不安や、正しい予防方法が知りたいなど、様々な相談に応じています。電話での相談もできます。

(全国性感染症検査相談窓口サイト) (厚生労働省：電話による相談窓口)



受診する科は性感染症科のほか、男性は泌尿器科、女性は産婦人科、のどに症状がある場合は耳鼻咽喉科、皮膚に症状がある場合は皮膚科に受診しましょう。検査方法は、採血による血液検査がほとんどですが、病気によっては尿検査もあれば、患部を綿棒でぬぐう検査もあります。

予防方法

★NO SEX (セックスしない)

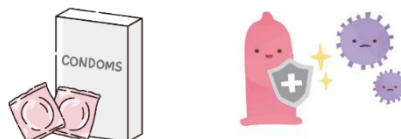
不特定多数や見知らぬ相手とは性行為はしないというノーセックスも予防のための大事な選択肢です。

★SAFE SEX（安全なセックス）

今は特定の相手しかいなくても、過去の他の人と性的接触があれば過去のパートナーからの感染の可能性があります。ただし、二人とも感染していないことが確実で、お互いに他のセックスパートナーがいなければ、二人のセックスは安全です。

★SAFER SEX（より安全なセックス）

コンドームを正しく使うことが有効です。コンドームを正しく使うことが予防には有効です。パートナーとの間だからこそ、コンドームや安全なセックスについてよく話し合しましょう。



性感染症それぞれの病気について

下記関連サイトにて詳細を確認してください。

[これって、性感染症？ | HIV 検査・相談マップ](#)

[性感染症（Sexually transmitted infections, STI） - 皮膚科 Q & A（公益社団法人日本皮膚科学会）](#)

[性感染症 | 厚生労働省](#)

[性感染症について | 東京都性感染症ナビ](#)